



# 「ふたば」

令和5年度特別号

「夢がつながる 学びのエリア」 板橋五小・板橋十小・板橋二中 めざす子ども像

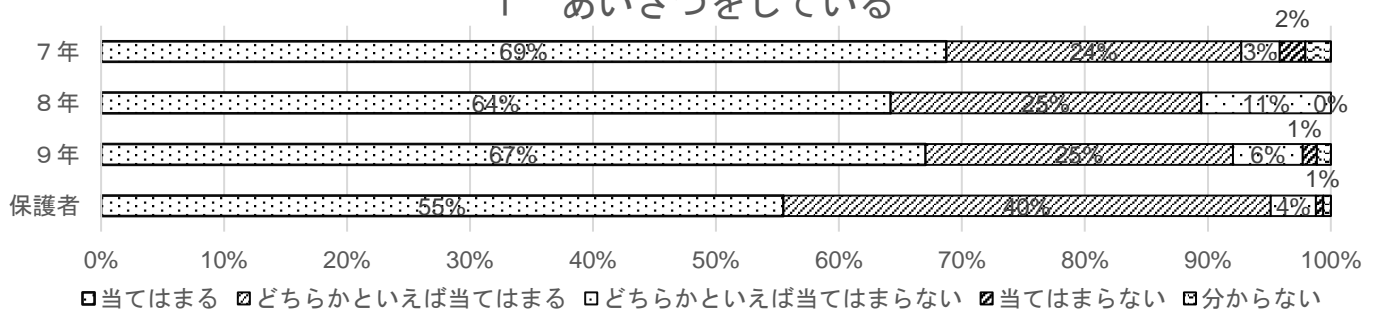
校長 柳澤 忠男

「自ら考え、心身共に健康で思いやりのある子」

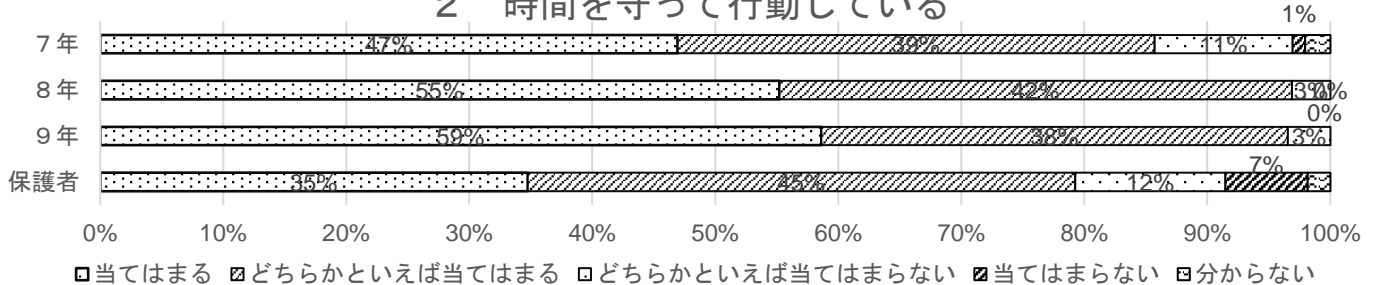
(令和6年2月)

学校評価保護者アンケートへのご協力、ありがとうございました。回答率は46%でした。生徒へのアンケート結果と併せてご報告いたします。この結果を今後の教育活動の改善に生かしてまいります。

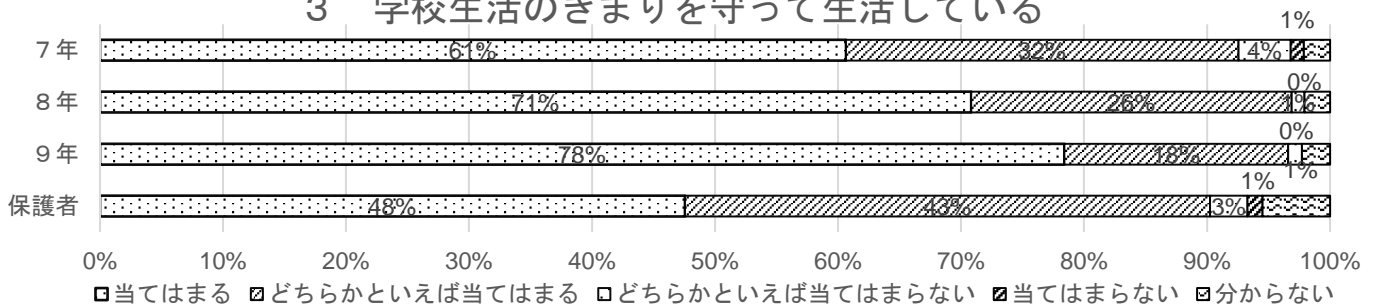
## 1 あいさつをしている



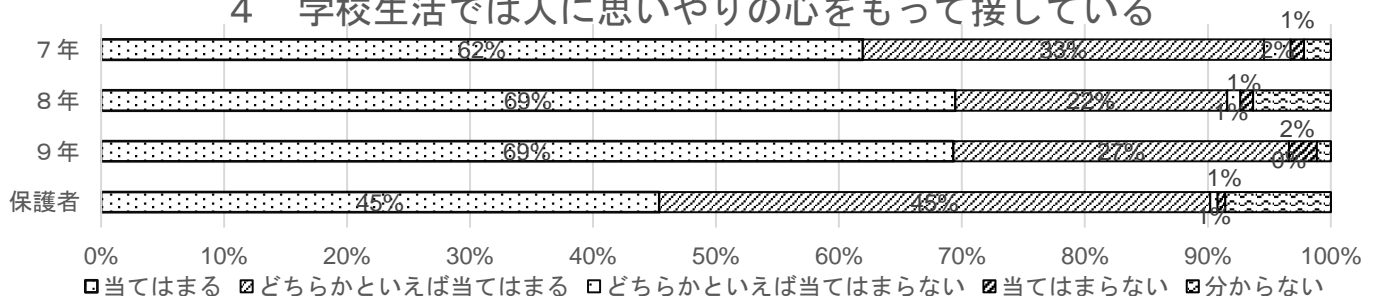
## 2 時間を守って行動している



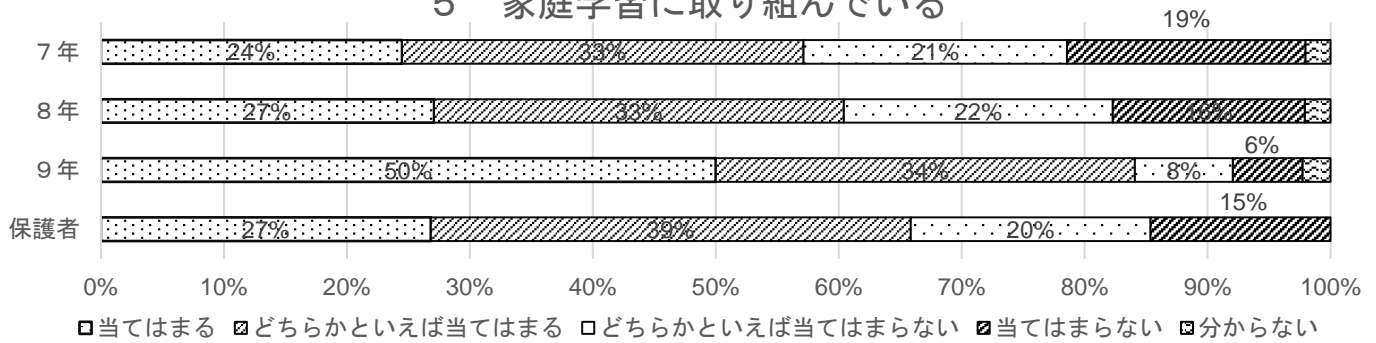
## 3 学校生活のきまりを守って生活している



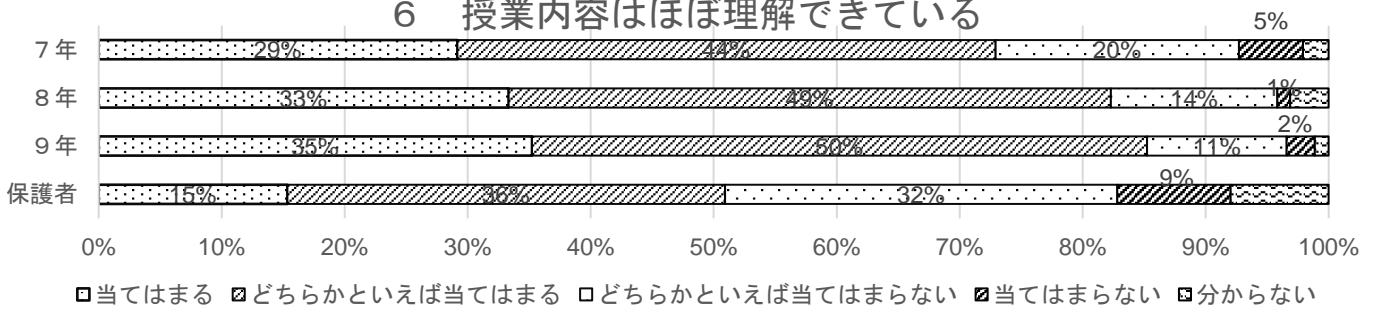
## 4 学校生活では人に思いやりの心をもって接している



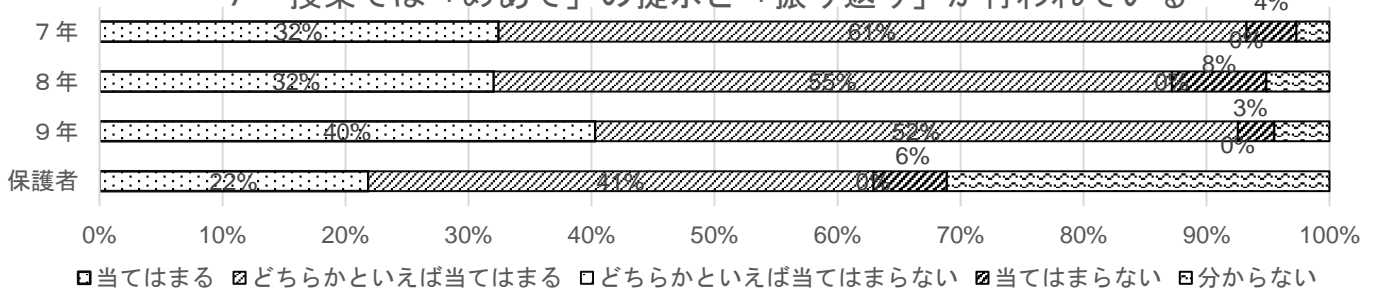
### 5 家庭学習に取り組んでいる



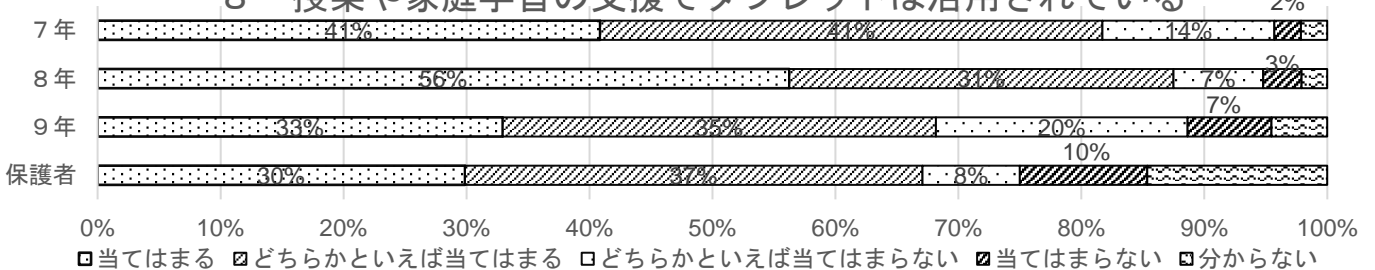
### 6 授業内容はほぼ理解できている



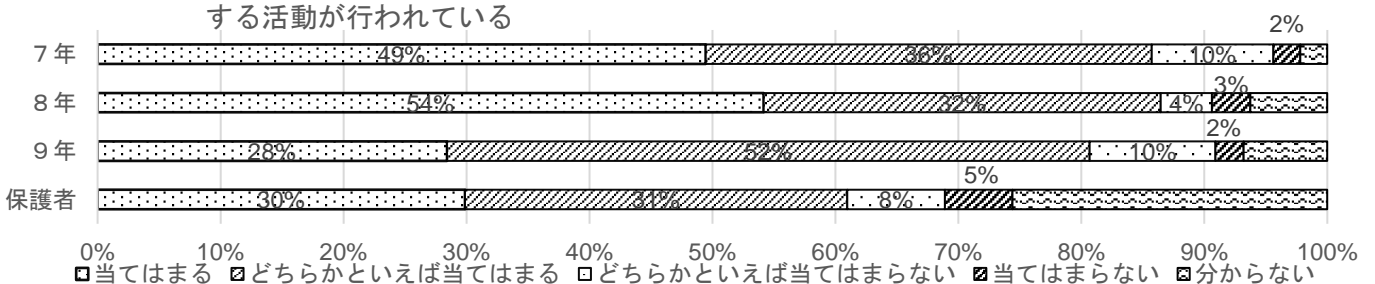
### 7 授業では「めあて」の提示と「振り返り」が行われている



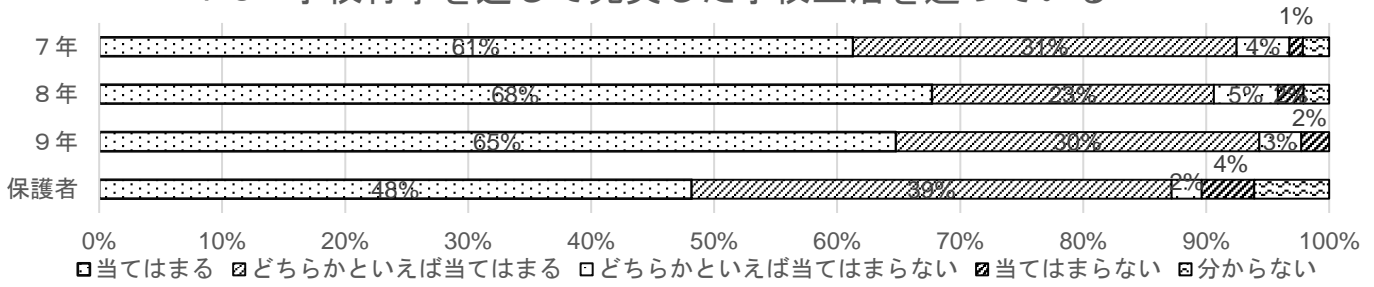
### 8 授業や家庭学習の支援でタブレットは活用されている



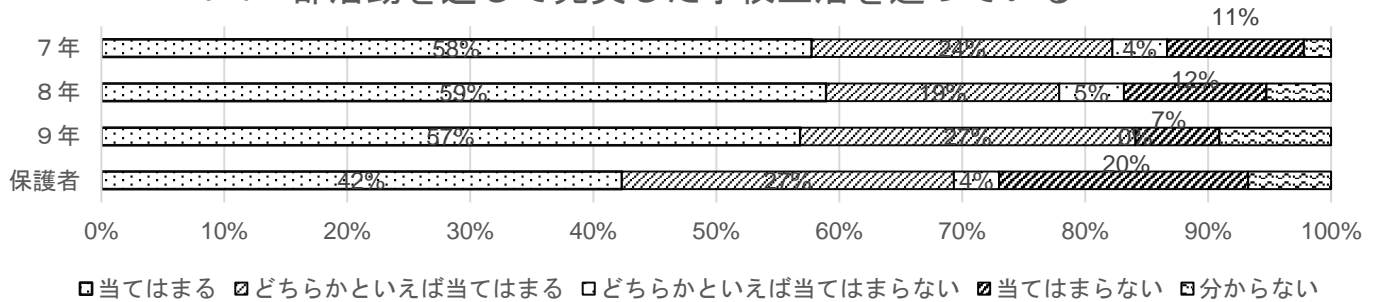
### 9 総合的な学習の時間では、自分で課題を見つけて調べたり、発表したりする活動が行われている



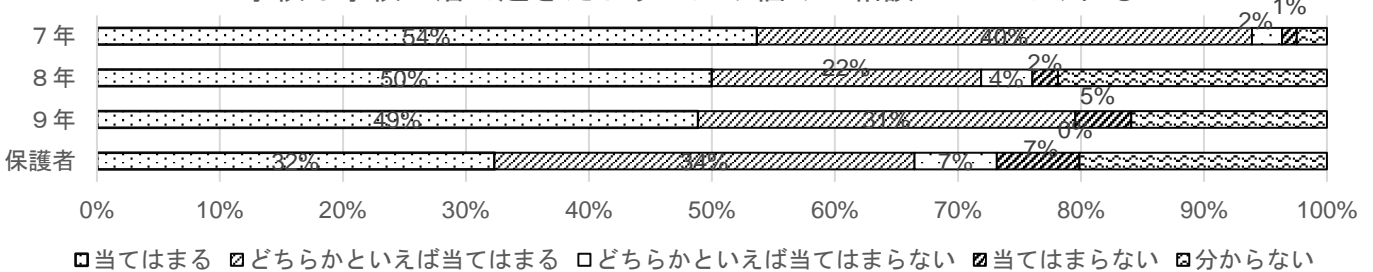
### 10 学校行事を通して充実した学校生活を送っている



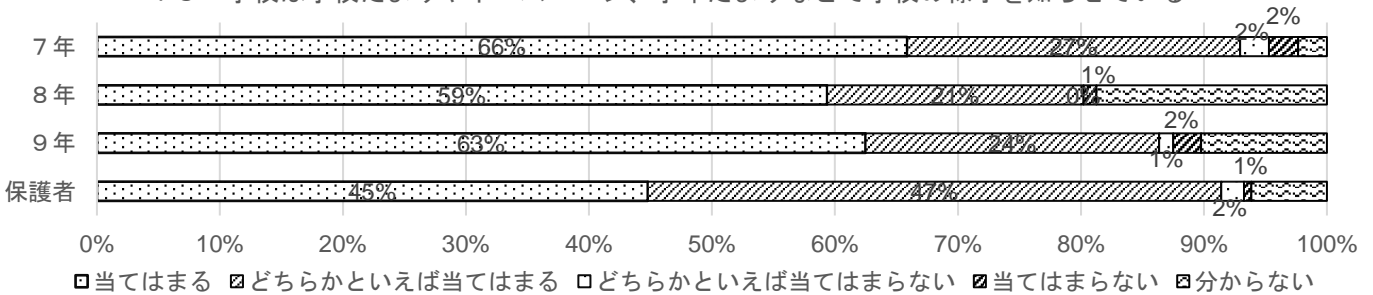
### 11 部活動を通して充実した学校生活を送っている



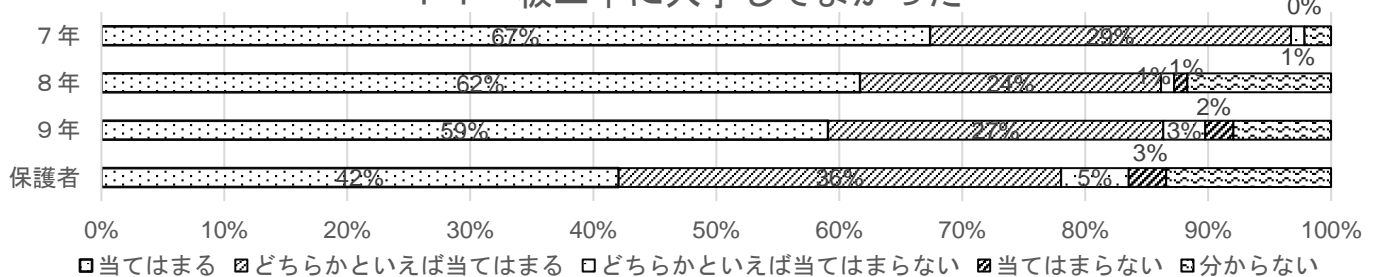
### 12 学校は学校生活で起きたトラブルや悩みの相談にのってくれる



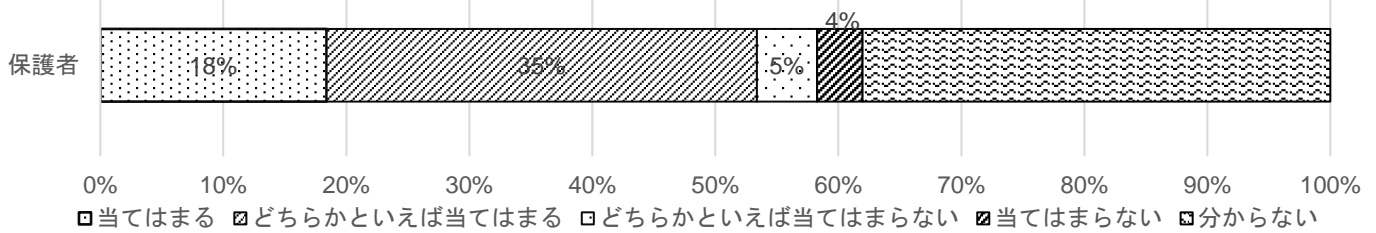
### 13 学校は学校だよりやホームページ、学年だよりなどで学校の様子を知らせている



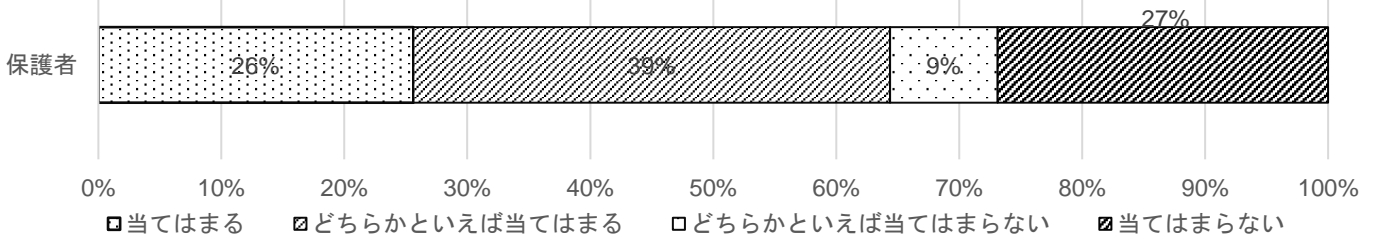
### 14 板二中に入学してよかった



15 学校は地域の人材を活用するなど、地域や保護者と連携した教育活動を行っている



16 学校がコミュニティ・スクールになっていることを知っている



<考察>

主に「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」を合わせた肯定的な回答の割合をもとに分析を行いました。

「あいさつ」や「学校のきまり」「人への思いやり」については生徒、保護者とも90%以上が肯定的な回答をしており、特に「あいさつ」については保護者の方の回答が良好で、あいさつ運動等の取組が評価されているようです。一方、学習については課題となっており、「家庭学習」については7、8年生の40%程度が否定的な回答をしています。9年生を含めた保護者についても、35%程度が否定的な回答です。「授業内容がほぼ理解できている」についても、保護者の40%以上が否定的に回答していて、テスト結果等から生徒自身以上に厳しい見方をしているようです。「タブレットの活用」については授業担当者によって差があるようで学年による差が大きくなっています。学校全体で効果的に利用できるようにさらに研修等を行っていきます。

「学校行事を通した学校生活の充実」については、2学期に文化発表会の合唱の取組があったためか生徒の肯定的な回答の割合は高くなっています。保護者の方にも見ていただけたため、保護者の方の評価も高くなっています。「部活動」については、年々学校の部活動以外で活動している生徒も増えてきているためか「当てはまらない」の回答割合が他の質問に比べて高くなっています。活動の満足度かどうか判断しかねるため今後この質問については検討していく必要があります。「悩みの相談」については7年生の肯定的な回答割合が高く、小学校に比べていろいろな先生等にかかわる機会があるため相談しやすく感じているのではないかと考えます。上の学年では「分からない」の割合が増えるため、相談しない生徒も増えていくのではないかと考えます。「学校だよりやホームページ、学年だよりなどの発信」については90%以上の保護者の方が肯定的な回答をされています。8、9年生の生徒の評価を上げるためには、直接生徒が目にする学年だよりを増やすことが必要かと思えます。「板二中に入学しての満足度」では保護者よりも生徒の満足度の方が高くなりました。特に新しく入ってきた7年生の満足度は95%を超えました。

保護者のみの質問項目である「地域や保護者と連携した教育活動」については「分からない」という回答が40%近くとなってしまいました。先日実施した7年生の「職業人の話を聞く会」など地域の人材を生かした教育活動の実施について情報を発信していきたいと思えます。また、「コミュニティ・スクールの認知度」については肯定的な回答が65%でした。委員会の開催のたびにホームページや学校だよりで報告をしていますが、引き続きコミュニティ・スクールのよさや協議した内容の教育活動への実現状況を伝えていけるよう努力してまいります。